

部員不足による複数校合同チームの大会参加について

合同チームの関東予選、高校総体予選、県定時制通信制大会、新人大会、県選手権大会の参加を次のように認める。(地区高体連主催大会も準ずる)

- | | |
|----------|--|
| I 時 期 | 平成 19 年度高校総体予選（県定時制通信制大会）から |
| II 条 件 | ① 1 校の部員が 5 人以下の学校同士であること。 <u>(マネージャー等は除く)</u>
② お互いの学校長が認めていること。 |
| III 注意事項 | ① 申込は各学校で申込書を作り、公印押印の上作成しあわせて申し込む。(再編統合校の場合と同じ)
② 大会参加料は 1 校分とする。
③ ユニフォームは統一されたものを使用する。(どちらかの学校のもので可)
④ 学校名は合同チームとわかるように当該校の学校名を使用する。
(例、合同新城向工) 再編統合校と区別できるよう合同をつける。
⑤ 引率責任者は各学校の教職員をつける。
⑥ 監督・選手・マネージャーのエントリー数は単独チームと同一とする。
⑦ ひとつの合同チームは 6 人以上になるまで何校でも可とする。
合同チームの編成する学校数は制限しない。ただしエントリーできる人数は 18 人以下とする。
⑧ 学校毎に登録をする。(協会・高体連)
⑨ 地区予選のある大会においては、1 校のエントリーが最も多い地区の予選に参加する。エントリー数が同数の場合は、監督の地区予選に参加する。また、エントリーの追加は予選参加地区が変わるような人数の追加は認めない。
⑩ 男女の混合は認めない。
⑪ 全日制・定時制・通信制の合同も認める。ただし、県高校総体に参加した定時制・通信制は県定時制通信制大会に参加できない。また、県定時制通信制大会に全日制は合同で参加できない。
⑫ 合同練習を行って大会に参加することを前提とする。 |
| IV 確認事項 | ① 合同チームが代表権を得るところまで勝ち上がった場合、代表権を与える。
② 合同チームがシード権を獲得した場合
○ 次大会も同一学校での合同⇒シード権有
次大会単独または他の学校との合同⇒シード権消失
③ 合同チームで申込をした後に、1 校が 6 人以上になった場合、申込後は単独への変更は認めない。
④ 地区代表決定数に関しては合同チームを 1 チームとしてカウントする。
⑤ 合同チームで申し込んだ後、他の学校の生徒を追加することは認めない。 |

※その他、問題が出てきた場合は今後検討し、緊急を要する場合は部長判断とする。

平成 19 年 4 月 1 日	施行
令和 2 年 3 月 23 日	改正
令和 4 年 3 月 16 日	改正
令和 5 年 3 月 15 日	改正